

< もくじ >	
1. 研究会合同シンポジウム 「あれから5年～私たちはフクシマを忘れない～」のお知らせ	1
2. 研究会からのお知らせ	2
3. 各研究会の概要報告	3

## 1. 研究会合同シンポジウム

### 「あれから5年～私たちはフクシマを忘れない～」のお知らせ

これまで JAASNEWS 第185号、第186号にわたってお知らせしてまいりましたように、本学会「第1回研究会合同イベント」が、3月14日に開催されます。

当学会では、機会あるごとに皆様にフクシマへの義捐金の呼びかけをしてまいりました。2011年3月11日の「東日本大震災」を経験してから5年目に入るこの時期、本学会がこのテーマでのシンポジウムを開催する背景には、被災者の抱える問題をより深く知り寄り添うとともに、避難されている方々を受け入れる地域の問題についての認識を深め、さらにはフクシマの現状と悲惨さをわれわれ自身の問題として再認識し、これからも決して忘れてはならないという思いがあります。今回のシンポジウムが、ささやかであれわれわれが支援を続ける意義について、われわれ自身より深く認識し考える機会になればと思います。

シンポジウムでは、まず、いまだに災害関連死が増え続けている浪江町の現状を現地の歴史を踏まえて再検討しようとする研究者、ならびに、「町外コミュニティ」の設計と実現に向けて現地 NPO 法人と協力している研究者のお二人にご報告いただきます。そのあとで、各地の避難先を移動し、現在、横浜にお住いの浪江町からの避難者の方、東京で福島からの避難者を支援している方に来ていただき、お二人の報告についてコメントをお願いしております。

限られた時間ではありますが、フロアーを含めそれぞれのお立場から活発にご議論と意見交換をしていただき、集まった方々の中で少なくとも問題意識を共有していくきっかけとなることができれば幸いに存じます。会員、非会員を問わず、多くの方々のご参加をお待ちしております。

- 1) 日 時：2015年3月14日（土） 13：30～16：00
- 2) 場 所：日本労働者協同組合連合会（高齢者生活協同組合）会議室  
（池袋東口北より徒歩5分 ISP タマビル8階）
- 3) タイトル：あれから5年～私たちはフクシマを忘れない～
- 4) 報告者  
坂田正顕（学会員、早稲田大学名誉教授）  
相馬中村藩の災害史から学ぶ  
白木里恵子（早稲田大学工学部助手）  
市民版復興シナリオの普及プロセス～福島県浪江町の避難住民による協働の復興まちづくりに関する報告～
- 5) コメンテーター：伊藤まり（福島県浪江町民）  
皆川鞆一（当学会理事 避難者支援ボランティア）
- 6) コーディネーター：長田攻一（当学会理事）  
詳しくは、案内のチラシ（ホームページにも掲載されています）をご覧ください。

## 2. 研究会からのお知らせ

### (1) 第84回 社会保障研究会 開催のお知らせ

- 1) 日 時：2015年2月26日（木） 18:00~20:00
- 2) 報告者：志藤 洋子（ILC-Japan（国際長寿センター）事務局長）
- 3) テーマ：「納得できる旅立ちのために 一自分で決める生き方・終い方」
- 4) 会 場：高齢者生活協同組合 会議室（会場が変わりましたので、ご注意ください）  
東池袋1-44-3 池袋ISPタマビル 7・8階 会議室は8階になります。  
※ご質問がございましたら、佐藤まで。090-4436-6853 fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp

### (2) 第17回「シニア社会のリテラシー」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2015年2月27日（金） 15:00~18:00  
<開催時間が変更になりましたので、ご注意下さい。>
- 2) 場 所：早稲田大学国際会議場4階第7共同研究室
- 3) テーマ：濱口座長の問題提起：『コミュニティ文学の可能性—社会的理解にもとづく提案—』についての意見交換  
前回（第16回・1月26日開催）に引き続いて濱口座長レクチャーの質疑応答・意見交換を行ないます。
- 4) 参加費：300円  
※お問い合わせは、事務局・島村までお願いします。

### (3) 第10回「ガバナンス」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2月28日（土）18:00~20:00
- 2) 場 所：地域サロン「ぷらっと」（JR 武蔵境駅北口徒歩5分）
- 3) テーマ：「総選挙を総括する」
- 4) テキスト：川村匡由『介護保険再点検』ミネルヴァ書房（割引即売可）
- 5) 参加費：700円（資料代など込み）
- 6) 申し込み：m\_kawa@musashino-u.ac.jp（川村座長）

### (4) 第11回「ガバナンス」研究会開催のお知らせ

- 1) 日時：3月29日（日）18:00~20:00
- 2) 場所：地域サロン「ぷらっと」（JR 武蔵境駅北口徒歩5分）
- 3) テーマ：「地方自治とガバナンス」Ⅱ
- 4) テキスト：川村匡由『地域福祉とソーシャルガバナンス』中央法規（割引即売可）
- 5) 参加費：700円（資料代など込み）
- 6) 申し込み：m\_kawa@musashino-u.ac.jp（川村座長）

### (5) 第21回「災害と地域社会」研究会開催について

（2月の研究会は、開催を見合わせることにいたしました。）

- 1) 日 時：2015年3月第5週に開催予定です。（時間帯は 18:00~20:00）
- 2) 場 所：早稲田大学戸山キャンパス 39号館（使用会議室は後報）
- 3) 報告者、テーマ等の委細は JAAS News 第 188 号とシニア社会学会 HP に掲載。  
※お問い合わせ、参加申込は事務局・福原（fukuhara@jaas.jp）迄お寄せ下さい

## (6) 第19回「シニアのICT活用研究会」開催のお知らせ

3月の月曜日に開催の予定で調整を進めています。開催日が決定次第、シニア社会学会のホームページでご案内いたします。

- 1) 日時：2015年3月の月曜日 17:00~19:00
- 2) 場所：(公財)ダイヤ高齢社会研究財団 会議室  
新宿区新宿一丁目 34番5号直田ビル 3階
- 3) 話題提起者：高齢者コミュニケーション支援サポーター協議会
- 4) テーマ：(仮)シニアがICTを活用する為のサポーターの役割
- 5) 参加費：500円

※参加のご連絡およびご質問については、澤岡 sawaoka@dia.or.jp (@は、半角にしてメール送信ください) までご連絡ください。

## 3. 各研究会の報告

### (1) 第83回 社会保障研究会の報告

- 1) 日時：2015年1月22日(木) 18:00~20:00
- 2) 報告者：藤森 克彦(みずほ情報総研株式会社 社会保障・藤森クラスター主席研究員)
- 3) テーマ：「単身世帯の増加とその影響—高齢単身世帯を中心に」
- 4) 会場：高齢者生活協同組合 会議室

かつて夫婦と子どもから成る世帯は標準世帯と呼ばれたが、今や世帯全体に占める単身世帯の割合がもっとも高くなった。単身世帯の増加は、男女とも80代以上に、男性では50代、60代に著しい。前者は高齢者と子どもの同居が減ったこと、後者は未婚化の進展による。単身世帯の増加は、経済的困窮者の増加、介護需要の高まり、社会的孤立者の増加をもたらす。こうした問題を解決するには、社会保障の機能強化(能力に応じて負担し、必要に応じて給付)、地域コミュニティの強化(高齢者の社会参画と空き家を利用した低所得高齢者への住宅提供)、非正規労働者への支援とワークライフバランスの強化が必要である。社会的支援を必要とする高齢単身世帯の増加と膨れ上がる国・自治体の借金という日本社会が直面する現実の厳しさに直面し、参加者一同嘆息するのみであった。(袖井孝子 記)

### (2) 第16回「シニア社会のリテラシー」研究会の報告

- 1) 日時：2015年1月26日(月) 16:30~19:30
- 2) 場所：早稲田大学国際会議場4階第7共同研究室
- 3) テーマ：濱口座長からの問題提起くそのⅡ>と意見交換

—「コミュニティ文学の可能性 —社会学的理解にもとづく提案—」

\*濱口座長から前回と今回の2回に亘って、「コミュニティ文学の可能性」に関するレクチャーが行われた。座長は、コミュニティのエッセンスは、「ところ定まり、こころ定まる」の考え方が基本である。そして文学の中に「コミュニティ文学」というジャンルを構想出来ると提案され、社会学的理解に基づき解き明かされた。(島村記)

### (3) 第20回「災害と地域社会」研究会の報告

- 1) 日時：2015年1月28日(水) 18:30~21:00
- 2) 場所：早稲田大学戸山キャンパス39号館6階第7会議室
- 3) 報告者：長田攻一(早稲田大学名誉教授、当学会運営委員)

#### 4) タイトル：岩手県田野原村の災害復興（中間報告）

昨年3月、「第二次大戦後の東北の過疎の村、田野畑が取り組んできた実験的な村づくりの跡をたどることにより、その成果が、歴史の中で大津波災害に繰り返し襲われてきた村の、2011.3.11の東日本大震災からの復興過程に与える意義と課題について」考えるという調査方針を示した。それに沿った、2014年8月19～20日の現地訪問をもとにした報告である。

早野村長（8期、1965年～1997年）が進めた田野畑の村民意識（旧村の集落での閉鎖的意識からの脱皮）の醸成や第一次産業の多角化による人口維持のための改革的政策は、上机村長時代（1997年～2013年）には相当部分方針転換がなされたが、その成果に際立ったものがなかった。自分本位になりがちであった村民の意識も、東日本大震災被害をきっかけに助け合いの意識へと変容し、村民の間に結束感が生まれたことにより、上机体制支持にも若干変化が現れ、石原村長（早野氏の薫陶を受けた人）が一昨年誕生して、村民にも田野畑にしかできないことを生み出そうとする積極的な意欲が生じている印象をもったという趣旨の報告がなされた。

また、3月14日シンポジウムに向けての準備と当日の進行についての打合せを行った。

（福原秀一 記）

一般社団法人シニア社会学会・事務局（月・水・金オープン）  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階  
電話&FAX：(03) 5778-4728  
eメール：[jaas@circus.ocn.ne.jp](mailto:jaas@circus.ocn.ne.jp) URL：<http://www.jaas.jp/>